

埼玉県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業に係る証明書
（原疾患治療実施医療機関）

事業対象となる生殖機能が低下する又は失う恐れのある原疾患治療を次のとおり実施した
（実施予定である）ことを証明します。

年 月 日

医療機関の所在地 _____
医療機関の名称 _____
診療科 _____
原疾患治療主治医氏名 _____
（自署）

妊孕性 温存療 法を受 けた（受 ける）者	ふりがな		
	氏名		
	生年月日 ・性別等	年 月 日生	男 ・ 女
治療方法	原疾患について		
	原疾患名（※ 1） 	左記の診断日 年 月 日 診断医療機関名 ()	
	原疾患に対する治療のうち、事業の対象となる治療		
	事業の対象となる治療として該当するものに○を付けてください。		
	☐ 「小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」（一般社団法人日本癌治療学会）の妊孕性低下リスク分類に示された治療 （上記の場合は、以下も確認すること） ☐具体的な治療内容について、様式第 1－4－2 号にチェックを付け、添付済み ☐ 長期間の治療によって卵巣予備能の低下が想定されるがん疾患：乳がん（ホルモン療法）等 ☐ 造血幹細胞移植が実施される非がん疾患：再生不良性貧血、遺伝性骨髄不全症候群（ファンコニ貧血等）、原発性免疫不全症候群、先天性代謝異常症、サラセミア、鎌状赤血球症、慢性活動性EB ウイルス感染症等 ☐ アルキル化剤が投与される非がん疾患：全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、多発性筋炎・皮膚筋炎、ベーチェット病等		
事業の対象となる原疾患治療を開始した日又は開始予定日		年 月 日	
妊孕性温存療法実施医療機関名		()	
妊孕性温存療法研究促進事業（妊孕性温存療法分）の申請回数 （いずれかの番号に○を付けてください）		1 1 回目の申請 2 2 回目の申請 （1 回目の申請は埼玉県） 3 2 回目の申請 （1 回目の申請は他の都道府県） →都道府県名 { }	

※ 1 原疾患名の欄には、がん等の診断名（例：悪性リンパ腫、再生不良性貧血など）を記載してください。

記載内容に関する問合せ先	
担当課	
担当者	
電話番号	— —

様式第 1-4-2 号

化学療法および放射線治療による性腺毒性のリスク分類表（女性）

女性 〔治療による早発卵巣不全（P01）リスク〕		P01リスク 「低」	P01リスク 「中」	P01リスク 「高」	
化学療法	Cyclophosphamide equivalent dose (CED)	☐ ☒ <4,000 mg/m ² 思春期前（月経未発来）	☐ ☒ 4,000～8,000 mg/m ² の場合には以下の範囲となる。初経後しばらくは明確な線引きが困難	☐ >8,000 mg/m ²	
	(CED)	☐ ☒ <8,000 mg/m ²	☐ ☒ 8,000～12,000 mg/m ²	☐ >12,000 mg/m ²	
	薬剤別	アルキル化薬	CEDの項で該当か所にチェックすること。		
		白金製剤		☐ ☒ CDDP<600 mg/m ² CBDCA	☐ CDDP>600 mg/m ²
		代謝拮抗薬	☐ ☒ Ara-C ☐ MTX ☐ GEM ☐ 6-MP		
		ビンカルカロイド	☐ VCR		
		モノクローナル抗体	☐ Bmab		
	レジメン別	AC/EC±タキサン	☐ ☒ AC×4サイクル（40歳未満）	☐ AC×4サイクル（40歳以上）	
			☐ ☒ AC/EC×4サイクル+タキサン（35歳未満）	☐ AC/EC×4サイクル+タキサン（35歳以上）	
				☐ (F) EC×4サイクル+dose dense タキサン	
		CMF, CEF, CAF, TAC	☐ ☒ CMF ☐ ☒ CEF ☐ ☒ CAF ☐ ☒ TAC 6サイクル（30歳未満）	☐ ☒ CMF ☐ ☒ CEF ☐ ☒ CAF ☐ ☒ TAC 6サイクル（30～39歳）	☐ ☒ CMF ☐ ☒ CEF ☐ ☒ CAF ☐ ☒ TAC 6サイクル（40歳以上）
		FOLFOX	☐ ☒ FOLFOX（40歳未満）	☐ FOLFOX（40歳以上）	
		Escalated BEACOPP	☐ ☒ Escalated BEACOPP 2サイクル	☐ ☒ Escalated BEACOPP 6-8サイクル（30歳未満）	☐ Escalated BEACOPP 6-8サイクル（30歳以上）
		CHOP	☐ ☒ CHOP 6サイクル（35歳未満）	☐ CHOP 6サイクル（35歳以上）	
		Dose-adjusted EPOCH	☐ ☒ Dose-adjusted EPOCH 6サイクル（35歳未満）	☐ Dose-adjusted EPOCH 6サイクル（35歳以上）	
		その他	☐ ☒ ABVD ☐ CVP ☐ ☒ BEP ☐ EP （30歳未満）		
	疾患別治療	☐ ☒ 急性骨髄性白血病治療 ☐ ☒ 急性リンパ性白血病治療		☐ 骨肉腫治療 ☐ ユーイング肉腫治療	
化学療法＋放射線治療			☐ TMZ＋頭蓋照射 ☐ BCNU＋頭蓋照射 ☐ アルキル化薬＋骨盤照射		
造血幹細胞移植			☐ CPA, BU, L-PAMを含むレジメン ☐ 全身照射を含むレジメン		
放射線治療	☐ 放射性ヨウ素（I-131）			☐ 頭蓋照射 >40 Gy	
			☐ ☒ 腹部／骨盤（思春期前） 10-<15 Gy ☐ ☒ 腹部／骨盤（思春期以降） 5-<10 Gy	☐ 腹部／骨盤（思春期前） ≥15 Gy ☐ 腹部／骨盤（思春期以降） ≥10 Gy	
				☐ 腹部／骨盤（成人女性） >6 Gy	

(日本癌治療学会編 小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年12月改訂 第2版より一部改変)

(参考) 略語表

略語	用語の説明
6-MP	6-mercaptopurine (6-メルカプトプリン)
ABVD	ドキソルビシン, プレオマイシン, ビンブラスチン, ダカルバジン
AC	ドキソルビシン, シクロホスファミド
Act-D	actinomycin D (アクチノマイシンD)
Ara-C	cytosine arabinoside (シタラビン)
BCNU	bis-chloroethylnitrosourea (カルムスチン)
BEACOPP	プレオマイシン, エトポシド, ドキシソルビシン, シクロホスファミド, ビンクリスチン, プロカルバジン, プレドニゾロン
BEP	プレオマイシン, エトポシド, シスプラチン
BLM	bleomycin (プレオマイシン)
Bmab	bevacizumab (ベバシズマブ)
BU	busulfan (ブスルファン)
CAF	シクロホスファミド, ドキシソルビシン, フルオロウラシル
CBDCA	carboplatin (カルボプラチン)
CDDP	cisplatin (シスプラチン)
CED	cyclophosphamide equivalent dose (シクロホスファミド相当量) ※
CEF	シクロホスファミド, エピルビシン, フルオロウラシル
CHOP	シクロホスファミド, ドキシソルビシン, ビンクリスチン, プレドニゾロン
CMF	シクロホスファミド, メトトレキサート, フルオロウラシル
COP	シクロホスファミド, ビンクリスチン, プレドニゾロン
CPA	cyclophosphamide (シクロホスファミド)
CVP	シクロホスファミド, ビンクリスチン, プレドニゾロン
DNR	daunorubicin (ダウノルビシン)
DXR	doxorubicin (ドキソルビシン)
EC	エピルビシン, シクロホスファミド
EP	エトポシド, シスプラチン
EPOCH	エトポシド, プレドニゾロン, ビンクリスチン, シクロホスファミド, ドキシソルビシン
ETP	etoposide (エトポシド)
Flu	fludarabine (フルダラ)
FOLFOX	レボホリナート, フルオロウラシル, オキサリプラチン
GEM	gemcitabine (ゲムシタビン)
IDR	idarubicin (イダルビシン)
L-OHP	oxaliplatin (オキサリプラチン)
L-PAM	melphalan (メルファラン)
MIT	mitoxantrone (ミトキサントロン)
MMC	mitomycin C (マイトマイシンC)
MTX	methotrexate (メトトレキサート)
TAC	ドセタキセル, ドキシソルビシン, シクロホスファミド
TMZ	temozolomide (テモゾロミド)
VBL	vinblastine (ビンブラスチン)
VCR	vincristine (ビンクリスチン)
急性骨髄性白血病治療	アントラサイクリン, シタラビン
急性リンパ性白血病治療	多剤併用
骨肉腫治療	ドキソルビシン, シスプラチン, メトトレキサート, イホスファミド
ユーイング肉腫治療	ビンクリスチン, ドキシソルビシン, アクチノマイシンD, シクロホスファミド, イホスファミド, エトポシド

※CEDとは、シクロホスファミド以外のアルキル化剤について、「この薬剤をシクロホスファミドに置き換えた場合、どの程度の量を投与したことになるか」を示すものであり、以下の式で算出される。

$$\text{CED (mg/m}^2\text{)} = 1.0 (\text{cumulative cyclophosphamide dose (mg/m}^2\text{)}) + 0.244 (\text{cumulative ifosfamide dose (mg/m}^2\text{)}) + 0.857 (\text{cumulative procarbazine dose (mg/m}^2\text{)}) + 14.286 (\text{cumulative chlorambucil dose (mg/m}^2\text{)}) + 15.0 (\text{cumulative BCNU dose (mg/m}^2\text{)}) + 16.0 (\text{cumulative CCNU dose (mg/m}^2\text{)}) + 40 (\text{cumulative melphalan dose (mg/m}^2\text{)}) + 50 (\text{cumulative Thio-TEPA dose (mg/m}^2\text{)}) + 100 (\text{cumulative nitrogen mustard dose (mg/m}^2\text{)}) + 8.823 (\text{cumulative busulfan dose (mg/m}^2\text{)})$$